

北海道・三陸沖で想定されている巨大地震や津波に備えましょう

内閣府及び気象庁では、規模の大きな地震に続いて発生する巨大地震、いわゆる「後発地震（こうはつじしん）」への注意を促す情報として、令和4年12月16日から「北海道・三陸沖後発地震注意情報」の運用を開始しております。

日本海溝・千島海溝沿いでは過去に巨大地震が繰り返して発生しており、大きな地震の後に、さらに大きな地震が発生した事例もあります。

大きな地震が発生すると、それに続く次の地震「後発地震」の発生の可能性が高まると考えられます。このため、北海道の根室沖から東北地方の三陸沖の巨大地震の想定震源域やその周辺でマグニチュード7.0以上の地震が発生し、大規模地震の発生する可能性が平常時より相対的に高まっている際に気象庁から「北海道・三陸沖後発地震注意情報」が発表されます。

地震や津波は、備えることで被害を減らすことができます。「後発地震」が必ず発生するとは限りませんが、この情報を見聞きしたら、地震への備えの再確認と、「後発地震」の発生時にすぐに津波から避難できる準備をお願いします。

また、地震は突発的に発生することの方が多いので、日頃から家具等の固定や避難場所・避難経路の確認等を行い、地震に備えておきましょう。

問い合わせ先 網走地方気象台
(電話：0152-43-4349)

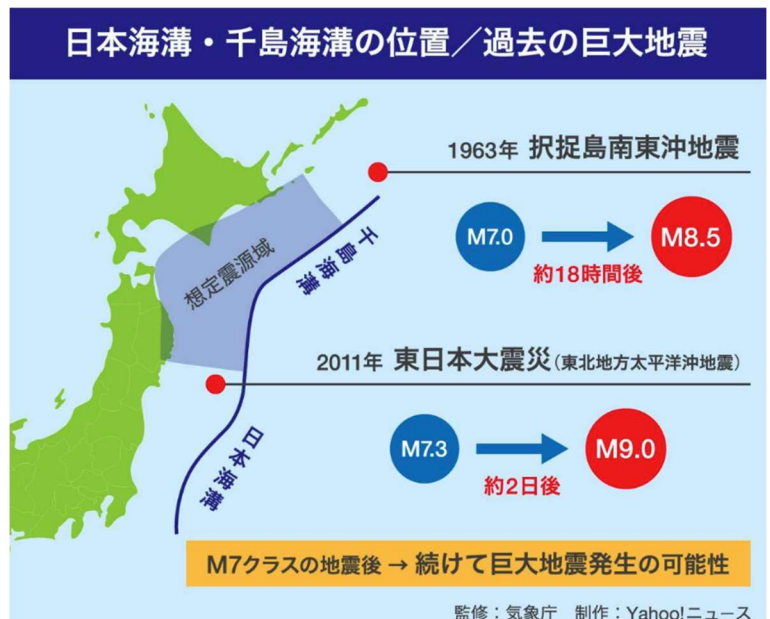


網走地方気象台ホームページ



内閣府ホームページ

「北海道・三陸沖後発地震注意情報」の
解説ページはこちらから



日本海溝・千島海溝の位置／過去の巨大地震
(監修：気象庁 制作：Yahoo!ニュース)